

大会名 Competition	第30回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2017 年 5 月 3 日 9 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
能代工業	(15 1st 16 20 2nd 15 6 3rd 21 19 4th 15 E P)	市立船橋
60 ●		67 ○

主審:Referee
加川 真 宮城
副審:Umpire
小田中涼子 岩手
田村高光 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代松陽高女子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	児玉 凜斗	CAP	3	1	0	0	1	4	×	保泉 遼	CAP	26	4	7	0	3
5	×	児玉 海渡		8	0	4	0	0	5	×	庄司 理宇		7	0	3	1	3
6	×	新田 由直		7	0	2	3	3	6	×	葉丸 侑平		3	1	0	0	3
7	×	石田 淳		2	0	1	0	1	7	×	野崎 由之		21	1	7	4	4
8	×	守屋 壮次郎		2	0	0	2	1	8	／	後藤 恵梧		7	1	2	0	2
9	／	齋藤 創		4	0	1	2	3	9	／	浅沼 友惟		0	0	0	0	0
10	／	牧野 湧		6	0	2	2	1	10	／	前田 悟司		2	0	1	0	0
11	／	佐藤 侃		19	3	3	4	0	11	／	廣瀬 圭右		0	0	0	0	0
12		高橋 日向		-	-	-	-	0	12	／	星野 怜		0	0	0	0	0
13	／	伊東 翼		3	1	0	0	0	13	／	楊 博		0	0	0	0	0
14	／	秋元 淳之介		6	2	0	0	1	14	×	兼重 バトリック		1	0	0	1	2
15		栗屋 颯太		-	-	-	-	0	15		三上 颯斗		-	-	-	-	0
16		阿久津 穰		-	-	-	-	0	16	／	大澤 響生		0	0	0	0	0
17		遠田 貴大		-	-	-	-	0	17	／	碓氷 真吾		0	0	0	0	0
18		須藤 陸		-	-	-	-	0	18	／	大川 颯斗		0	0	0	0	1
コーチ		柴田 直宏						0	コーチ		近藤 義行						0
アシ		杉沢 政						0	アシ		林 裕輝						0
合 計				60	7	13	13	11	合 計				67	7	20	6	18

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	19	31.67%	佐藤 侃	1	26	38.81%	保泉 遼
2	8	13.33%	児玉 海渡	2	21	31.34%	野崎 由之
3	7	11.67%	新田 由直	3	7	10.45%	庄司 理宇

Score ranking[Game]

1	26	保泉 遼	市立船橋	2	21	野崎 由之	市立船橋	3	19	佐藤 侃	能代工業
---	----	------	------	---	----	-------	------	---	----	------	------

1Q、再起の年にしたい能代工と、昨年のチームから大型ガード赤穂の抜けた市立船橋による幕開けのゲーム。両チームともスタメンはそれほど大きくない。フリースローで先制したのは市立船橋。その後両チームとも動きが固く、シュートも決まらず、1Qは市立船橋1点リードの15-16。

2Q、スタートから少しパスが回り始めた能代工だが、得点のパターンが出来ておらず、なかなか加点できない。市立船橋も連続得点はなく、散發している。能代工35-31市立船橋。

3Q、捉えどころのないゲームが続く、若い両チーム。3Q残り1分45秒から市立船橋に4連続得点が出て41-52と能代工は突き放される。能代工はこのQ僅か6得点に抑えられる。

最終Q、攻め手のない能代工に容赦なく市立船橋のディフェンスが襲い掛かる。能代工は最後までパスが前に出ずオフェンスでも足が止まっていた。どちらが勝ってもおかしくないゲームだったが、一つ一つの動きの良さが見えた市立船橋が突き放し、60-67で勝利した。